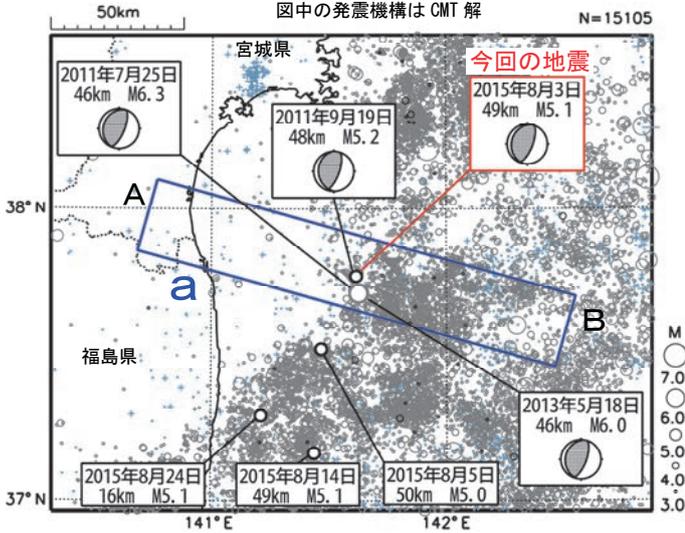


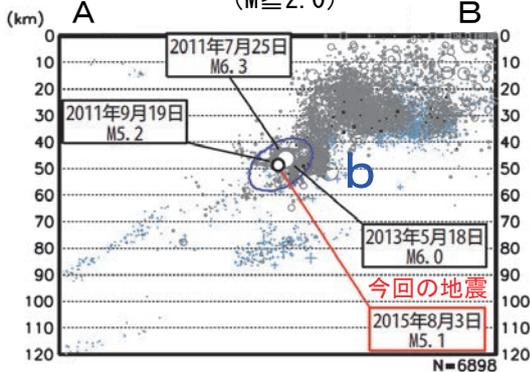
8月3日 福島県沖の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2015年8月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 3.0$)

東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を+
東北地方太平洋沖地震以降に発生した地震を薄い○
2015年8月の地震を濃い○で表示
図中の発震機構はCMT解

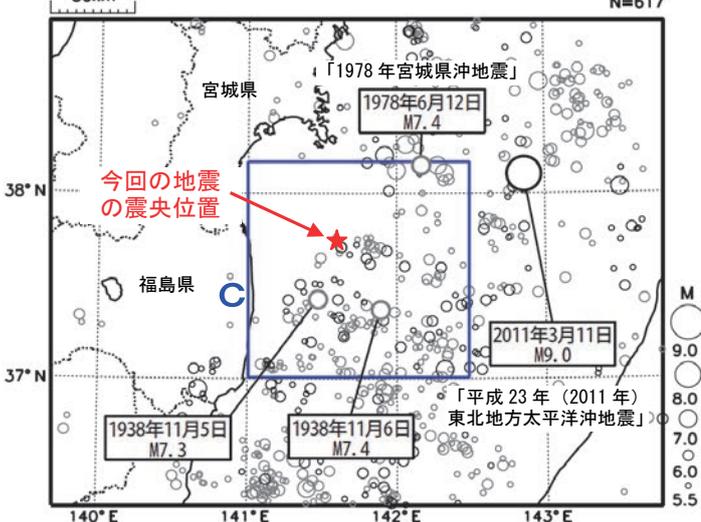


領域 a 内の断面図 (A-B 投影)
($M \geq 2.0$)



震央分布図
(1923年1月1日～2015年8月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 5.5$)

2011年3月11日以降の地震を濃く表示

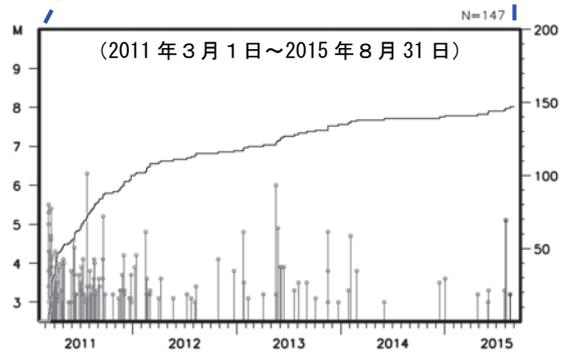
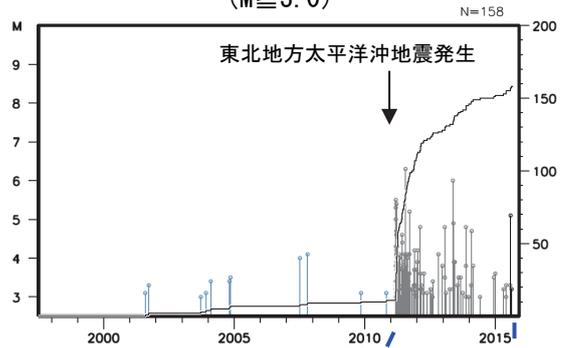


2015年8月3日14時30分に福島県沖の深さ49kmでM5.1の地震(最大震度3)が発生した。この地震は発震機構(CMT解)が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」の発生以前にはM4.0以上の地震は2回しか発生していなかった。東北地方太平洋沖地震の発生以降は、2011年7月25日にM6.3の地震(最大震度5弱)が発生するなど、地震活動が活発になっている。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M7.0を超える地震が時々発生している。

領域 b 内のM-T図及び回数積算図
($M \geq 3.0$)



領域 c 内のM-T図

